

小澤 亘教授 略歴と業績

I. 略 歴

1956年1月	東京に生まれる
1979年3月	一橋大学経済学部卒業
1979年4月	株式会社日立製作所勤務
1985年3月	一橋大学社会学部卒業
1987年3月	中央大学大学院法学研究科修士課程修了
1991年3月	一橋大学大学院社会学研究科博士課程 単位取得退学
1991年4月	大東文化大学法学部政治学科研究助手 埼玉大学非常勤講師（1993年4月～1994年3月）
1994年4月	立命館大学産業社会学部助教授
2002年4月	立命館大学産業社会学部教授
2021年3月	立命館大学定年退職
2021年4月	立命館大学特別任用教授・名誉教授

(主な学内役職歴)

1999年4月～2000年3月	夜間主コース・社会人担当主事
2002年4月～2003年3月	国際担当主事
2003年4月～2004年3月	企画調査委員長
2005年4月～2006年3月	研究科主事
2005年4月～2006年3月	大学院委員

II. 専門分野

専門分野	社会学（含社会福祉関係）（キーワード：多文化共生の社会学，ボランティアの文化社会学），思想史
担当科目	多文化共生論，応用社会学特殊研究，日本の社会・政治
学位	法学修士（中央大学，1987年3月）
研究課題	(1) 多文化共生社会の研究 (2) ボランティア文化の比較研究 (3) DAISY の応用研究

所属学会 International Society for Third-Sector Research (ISTR)，国際ボランティア学会

Ⅲ. 主な研究業績

著 書

1. (編著)『「ボランティア」の文化社会学』（上森成人・篠原正一，世界思想社，2001年9月）59-87頁，119-148頁，179-207頁，209-261頁
2. (共編)『地域福祉のエンパワメント—協働がつむぐ共生と暮らしの思想』（小澤亘・加藤博史他，晃洋書房，2017年3月）115-250頁

論 文

1. (单著)「ルソーの平等思想について—「一般意志」論理解の一つの試み—」（『一橋論叢』（一橋大学）100巻2号，1988年8月）69-89頁
2. (单著)「ルソーとモンテスキュー」（田中浩編『現代世界と国民国家の将来』，御茶の水書房，1990年3月）235-246頁
3. (单著)「ルソーにおける「宗教」と「政治」—ボッシュエ・ホップズ・スピノザとの対比による一考察」（『思想』790号，岩波書店，1990年4月）80-105頁
4. (单著)「フランス啓蒙思想における「宗教問題」研究の意義について—ヴォルテールとルソーをめぐる—」（『一橋論叢』（一橋大学）105巻2号，1991年2月）191-199頁
5. (单著)「ペイン研究の最近の動向について—エイヤーとクレイズの研究を中心として」（『大東法学』（大東文化大学）19号，1992年1月）289-299頁
6. (共著)「現代青年の同世代イメージにおける虚像と実像—立命館大学生の世代意識調査にかんする中間的報告」（河原晶子，『立命館教育科学研究』5号，1995年3月）43-59頁
7. (单著)「現代青年・学生の社会意識と生活意識」（『現代青年・学生の意識に関する総合的研究（第2次）』立命館大学教育科学研究所，1996年3月）第1部2章4節
8. (单著)「ルソー—近代国民国家像に対するアンチ・テーゼの提出」（田中浩編著『現代思想とはなにか』，龍星出版，1996年6月）69-84頁
9. (共著)「現代青年の社会参加活動に関する意識調査の意義—動機の社会的分析の観点から」（森重拓三，『立命館教育科学研究』9号，1997年3月）81-91頁
10. (单著)「ボランティアと学び」（『文化的実践としての学生の「学ぶ活動」に関する認知科学的研究』プロジェクト研究シリーズ8，立命館大学教育科学研究所，1997年9月）25-44頁
11. (共著)『大学生ボランティアたちのこころの軌跡』（立命館教育科学プロジェクト研究シリーズ13，立命館大学教育科学研究所，2000年3月）1-2頁，41-60頁，79-98頁，119-142頁，143-146頁
12. (单著)「ボランティア意識の国際比較調査—日本・カナダにおける高校生たちのボランティア意識調査」（『京都市における高齢者福祉情報システムの開発—市民のボランティア活力による高齢者問題克服のための福祉情報ネットワークの構築を目指して：研究成果報告書Ⅰ』（平成11年度～13年度科学研究費補助金：地域連携推進研究，研究代表者：中川勝雄，課題番号：11791004），2003年10月）371-395頁
13. (单著)「京都市高齢者のネットワークおよび社会活動に関して」（『京都市における高齢者福祉情報システムの開発—市民のボランティア活力による高齢者問題克服のための福祉情報ネットワークの構築を目指して：研究成果報告書Ⅰ』（平成11年度～13年度科学研究費補助金：地域連携推進研究，研究

- 代表者：中川勝雄，課題番号：11791004），2003年10月）52-71頁
14. (単著)「ボランティアと市民社会」(佐藤嘉一編著『「方法」としての人間と文化』，ミネルヴァ書房，2004年3月)151-168頁
 15. (単著)「多文化共生社会の実現に向けて」(加藤直樹・峰島厚・山本隆編著『人間らしく生きる福祉学』，ミネルヴァ書房，2005年4月)165-173頁
 16. (共著)「ボランティア文化の国際比較研究—日本・韓国・カナダの高校教育をめぐる社会学的調査」(『ボランティア文化の国際比較研究—日本・韓国・カナダの高校教育をめぐる社会学的調査』(平成14年度～16年度科学研究補助金研究成果報告書：基盤研究B2，研究代表：小澤亘，課題番号：14402003)，2006年5月)1-476頁
 17. (単著(リー・ウォンジン韓国語訳))「日本における青少年ボランティア政策の現在」(韓国青少年振興センター編『青少年ボランティア海外政策事例集Ⅱ海外ボランティア政策の動向—イギリス，日本の青少年ボランティア政策』，2007年12月)37-64頁
 18. (単著)「報告概要：ボランティア文化の国際比較—日・韓・加3カ国の大学生・高校生調査から」(立命館大学ボランティアセンター主催国際シンポジウム報告書『ボランティアリズムと教育—カナダ，韓国そして日本』，2008年3月)11-14項
 19. (単著)「日本における青少年ボランティア政策の現在」(立命館大学ボランティアセンター主催国際シンポジウム報告書『ボランティアリズムと教育—カナダ，韓国そして日本』，2008年3月)60-74頁
 20. (単著)「市民教育とボランティア」(加藤哲郎・国広敏文編『グローバル化時代の政治学』，法律文化社，2008年3月)215-236頁
 21. (単著)『ボランティア文化の国際比較—韓国・カナダにおける公的データの比較分析』(平成18年度～平成19年度科学研究費補助金研究成果報告書(基盤研究C，研究代表：小澤亘，課題番号：18530420)，2009年5月)1-180頁
 22. (共著)「第2部 多文化共生の福祉社会を目指して—新たなネットワーク形成に向けて」(小澤亘・他，『京都外国人高齢者・障害者生活支援ネットワーク・モア研究報告書』(韓哲文化財団研究助成成果報告)，2009年7月)117-121頁，122-131頁
 23. (単著)“How to collaborate between Univ. and NGO to empower the Youth : A Challenge depending on the Data of Comparative Study on Volunteering Culture between Japan, Korea and Canada” (*The 6th ISTR Asian Pacific Regional Conference Proceeding*(第6回国際第3部門学会亜洲太平洋区域年会論文集)，2009年11月)全13頁
 24. (単著)“Foreign Citizens' and Public Sphere in Japan” (『立命館産業社会論集』45巻3号，2009年12月)43-52頁
 25. (共著)“Volunteer Support Network for Elderly Foreigners: A New Movement of Korean Residents in Kyoto” (Wataru Ozawa, Yukifumi Makita, Koichiro Higuchi, et all『立命館産業社会論集』48巻3号，2012年12月)19-40頁
 26. (単著)「日本・韓国・カナダ3カ国における青年ボランティア文化比較研究—市民社会とボランティア問題—」(『立命館大学人文科学研究所紀要』99号，2013年3月)183-212頁
 27. (単著)“Comparative Study on Volunteerism of Youth in Japan, Korea and Canada: Civil Society and Volunteer Problems” (*Journal of Ritsumeikan Social Sciences and Humanities* 5, 2013年3月)

125-143頁

28. (共著)“The Local Community Volunteer Social Worker System in Japan: Analysis of Survey Data” (OZAWA Wataru, MAKITA Yukifumi, HIGUCHI Koichi, NISHIMURA Kiyotada, ISHIKAWA Kuniko, OGAWA Eiji, and KATO Hiroshi, 『立命館産業社会論集』50巻3号, 2014年12月) 1-20頁
29. (単著)「外国にルーツを持つ児童生徒の学習権保障とデジタル教科書政策」(『立命館人間科学研究』33号, 2016年1月) 63-74頁
30. (単著)“Volunteer Sector facing the Super Aged Society in Japan” (*Journal of Ritsumeikan Social Sciences and Humanities* 7, 2016年3月) 53-71頁
31. (単著)「ボランティア文化研究の挑戦—日・韓・加3カ国ボランティア意識調査を振り返って」(『立命館産業社会論集』52巻1号, 2016年6月) 33-51頁
32. (単著)「超高齢社会に直面する日本とボランティア・セクター」(中谷義和他編『新自由主義的グローバル化と東アジア: 連携と反発の動態分析』, 法律文化社, 2016年12月) 197-219頁
33. (単著)「資料編: 民生委員調査報告書」(加藤博史・小澤亘編著『地域福祉のエンパワメント: 協働がつむぐ共生と暮らしの思想』, 晃洋書房, 2017年3月) 171-250頁
34. (共著)「JOY トークによる地域福祉のエンパワメント」(加藤博史・小澤亘編著『地域福祉のエンパワメント: 協働がつむぐ共生と暮らしの思想』, 晃洋書房, 2017年3月) 115-166頁
35. (単著)「「観光」をキーワードとする連携教育プログラムの実践—産社らしいアクティブ・ラーニングを求めて—」(『立命館産業社会論集』53巻1号, 2017年6月) 7-27頁
36. (共著)「外国にルーツを持つ児童の読み困難度の測定—視線追尾検査の試み」(楠敬太・小澤亘・金森裕治, 『立命館人間科学研究』38号, 2019年1月) 59-72頁
37. (共著)「外国にルーツを持つ児童の横書き・縦書きテキストにおける読み能力の違い—読み能力検査および視機能評価を通して—」(楠敬太・小澤亘・金森裕治, 『立命館人間科学研究』40号, 2019年12月) 1-13頁
38. (共著)「京都市一人暮らし高齢者全戸訪問事業に基づく福祉 GIS 活用の試み—地域福祉デジタル情報化課題の一考察— (上)」(小澤亘・矢野桂司・中谷友樹・加藤博史, 『立命館産業社会論集』56巻1号, 2020年6月) 109-129頁
39. (共著)「京都市一人暮らし高齢者全戸訪問事業に基づく福祉 GIS 活用の試み—地域福祉デジタル情報化課題の一考察— (下)」(小澤亘・矢野桂司・中谷友樹・加藤博史, 『立命館産業社会論集』56巻2号, 2020年9月) 45-63頁
40. (単著)「外国にルーツを持つ児童生徒の学習権をいかに保障するか—立命館大学DAISY研究会(Rits-DAISY)の挑戦—」(『立命館産業社会論集』第57巻1号, 2021年) 15-36頁

その他 (調査報告等)

1. (分担翻訳)「フランス社会民主主義」(R・クルベス, J・カンデル (田中浩・柴田寿子訳編)『ヨーロッパ・社会民主主義・福祉国家—EUの時代』, 未来社, 2009年, 237-260頁)
2. (単著)項目執筆「コミュニティ」「ネットワーク」(望月昭・中村正・サトウタツヤ『「対人援助学」キーワード集』, 晃洋書房, 2009年)
3. (単著)「多言語 DAISY テキストの可能性—新たな教育支援ネットワークの創造に向けて」(『京都

YWCA-APT20周年記念誌『多文化共生社会をめざして20年』(2011年10月) 58-62頁

4. (単著)「東九条・小栗栖地域の高齢者調査中間報告」(『在日コリアンに関する高齢者居住調査および学生の意識調査 共に生きる—マイノリティとの共生—』, 龍谷大学人権問題研究委員会, 2012年3月) 21-60頁
5. (単著)「〈私の視点〉障害児向け教科書 誰もが使えるものに」(朝日新聞朝刊, 2012年8月1日)
6. (共著) 高齢者の見守りと民生委員の活動研究会編『京都市・宇治市・八幡市における民生児童委員 悉皆調査報告書』(2013年), 全138頁
7. (共同監修) 京都観光学生・留学生ネット『嵐電北野線沿線「駅から散策マップ」解説書』(2016年), 全106頁
8. (監修) 立命館大学産業社会学部社会調査士プログラム17期生 SC クラス『高齢者見守りボランティアの現在—京都市・老人福祉員制度に関する調査報告書』(2016年), 全230頁
9. (監修) 立命館大学 DAISY 研究会『読み書きが苦手な子どもたちの新たなサポート法 (改訂版) だれでも出来るアプリを使った「テストの音声化」!』(2018年), 全26頁

IV. 社会における活動

2002年4月～2021年3月	京都府立山城高校学校評議員
2006年3月～現在	京都外国人高齢者・障害者生活支援ネットワーク・モア顧問
2011年4月～2021年3月	京都歴史回廊協議会幹事
2016年4月～2018年3月	京都市右京区御室学区自治連合会・議長
2019年8月～2020年3月	文部科学省「外国人児童生徒等における教科用図書の使用上の困難の軽減に関する検討会議」委員
2020年6月～2021年3月	草津市多文化共生推進プラン策定委員会・委員長
2020年6月～2021年6月	エジプト国・通信産業省(MCIT)“Center of Excellence for Universal Design and Assistive Technologies Advisory Board”日本側委員
2020年8月～2021年3月	文部科学省委託令和2年度「学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業」実証研究委員会・委員

以上

